

2023年3月24日

国立大学法人東京農工大学  
 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

## 東京農工大学とあいおいニッセイ同和損保が包括連携協定を締結 ～安全・安心なクルマ社会の実現に向け、自動車事故データを分析する共同研究等を開始～

国立大学法人東京農工大学（学長：千葉 一裕/以下、東京農工大学）とMS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介/以下、あいおいニッセイ同和損保）は、3月23日に包括連携協定を締結し、自動車事故データの分析等を通じて安全・安心なクルマ社会の実現に向けた共同研究を開始しましたので、お知らせします。

### 1. 協定の背景

東京農工大学は、「地球を回そう MORE SENSE（使命志向型教育研究—美しい地球持続のための全学的努力）」を基本理念として掲げ、農学、工学およびその融合領域分野における科学的探究を通じて、21世紀の人類が直面する課題解決に向けて教育・研究を実施しています。また、あいおいニッセイ同和損保は、中期経営計画の核となる考え方である「CSV×DX」※に基づき、社会・地域課題の解決に資する新たな保険商品やサービスの提供拡充に努めています。

今般、両者が持つ独自の知見・データを活用した共同研究を通じて、自動車事故や大規模災害による被害軽減につながる新たなソリューションの創造等を目指し、包括連携協定を締結することとしました。

※ CSV・・・Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

DX・・・Digital Transformation（データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること）

### 2. 協定の概要

#### (1) 主な協定事項

協定事項	取り組みイメージ
共同研究の実施及び研究成果等の活用促進	・ 安全・安心なクルマ社会の実現に向け、あいおいニッセイ同和損保の自動車事故データを分析した共同研究を実施
地方創生、社会・地域課題の解決に関する共同取組	・ 両者が持つ独自の知見・ノウハウを有効活用した、自然災害対策に関するセミナー開催を検討
産学官連携による人材交流、人材育成	・ 起業・創業に関する人材育成等、東京農工大学の高度人材養成プログラムにおける協働を検討

＜協定調印式の様子＞

⑤東京農工大学 学長 千葉 一裕

⑤あいおいニッセイ同和損保 代表取締役社長 新納 啓介



## (2) 自動車事故データ活用した共同研究

東京農工大学は、ドライブレコーダー映像から取得した「ヒヤリハットデータ」の分析等を通じて、リスク予測・先読み運転を可能とする高度運転支援システムの設計や自動運転車の安全性評価用の事故シナリオの作成など、先駆的な研究を行っています。また、あいおいニッセイ同和損保は、地球約 238 万周分（2022 年 12 月時点）の自動車走行データを保有しており、通信機能付きドライブレコーダー等から取得できる衝突時の映像を AI で解析し、相手車両の速度や走行軌跡を割り出すなど、データ利活用のノウハウを蓄積しています。

両者のデータ分析ノウハウを活用し、あいおいニッセイ同和損保が保有する膨大な自動車事故データを分析することで、科学的アプローチによって安全・安心なクルマ社会の実現に資する新たなソリューションの創造を目指します。

<共同研究のイメージ>



あいおいニッセイ同和損保

～自動車の安全運行に関する先駆的な研究～

～膨大な自動車事故等のデータ保有～

- 事故の未然防止機能の精度を向上させた自動運転車両および運転支援装置のハードウェア・ソフトウェアの開発
- 事故リスクの高い交差点形状等に関する研究

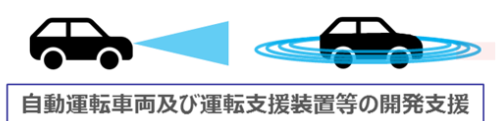
- 車両の安全性能の高度化を目的とした交通事故シナリオデータベースの構築
- 運転寿命延伸のための高齢者向けサービスの開発



事故の未然予防・再発防止活動



研究成果物を相互に活用



自動運転車両及び運転支援装置等の開発支援

～参画する学会・国PJ、連携する大学等に向けて情報を発信～

## 3. 今後の展開

東京農工大学は、保険会社と初めて包括連携協定を締結しました。農学、工学およびその融合領域など幅広い分野で、共同研究や社会・地域課題の解決に関する取り組みを進めていきます。

あいおいニッセイ同和損保も農学部・工学部を有する国立大学法人との包括連携協定の締結は初であり、高度な研究ノウハウに基づく新たなアプローチによって事業機会を創出していきます。

今後、両者の取り組み目的やビジョンに共感する企業・地方公共団体へ研究成果等を開放し、様々なパートナーシップを構築することでビジネスを共創し、社会・地域課題の解決を目指していきます。

以上